

事務事業評価表（内部管理事務等）

1次評価日（主幹等） 30年3月31日

2次評価日（課長等） 30年3月31日

1 事業名	道水路管理事務			コード	141209
2 担当部課	部等	建設水道部	課等	土木課	作成者 三村田 卓
3 事業概要	目的体系	基本目標	快適に生活できる、都市機能の充実したまち		
		政策	交通網の整備	施策	道路の整備
		予算科目	路線管理事務費	業務委託	一部委託
		実施義務	あり（義務的・標準的事业）	国県補助	なし
		根拠法令	道路法、道路構造令、地方交付税法、河川法、建築基準法、国家賠償法		

●事業の実施内容（D0）

4 事業の概要等	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要（簡潔に）	市道、水路の管理者である岡谷市が、適正な管理のため必要な台帳整備や道水路の境界立会いを行う。また、道水路の占用についての許可等を行う。		
目的	対象者	道路を通行する者や水路を利用する者。	
	意図	市道、水路の円滑、快適な利用ができる	

5 事業の実施内容	*29年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容		
	【29年度数値】		
	<ul style="list-style-type: none"> ・申請により、道水路の境界立会を実施、境界杭埋設、記録の作成を行った。（立会件数184件） ・占用工事（182件）・自営工事（46件）の審査、許可、占用料の徴収（2,106件）を行った。 ・市道の認定、変更等に伴う議会の議決や告示（9件）、道路台帳の補正事務（26件）を行った。 ・工事等による、車両通行制限（486件）の許可、特殊車両の通行の協議（109件）を行った。 ・道水路の不要地の払下、付替の事務（4件）、道水路内の未登記土地の取得事務（4件）を行った。 ・道路後退線用地の意思の確認及び用地取得（26件）事務を行った。 ・使用貸借、賃貸借契約（12件）事務、道水路違法放置物処分、管理瑕疵による事故対応事務を行った。 ・県道の占用、自営工事及び河川区域等、急傾斜地等の県への意見書進達事務を行った。（60件） ・登記に使用する街区基準点使用者に、データ閲覧の事務を行った。 		
前年度の課題への対応	路上への樹木や生垣のはみ出しによる周辺住民からの苦情に対し、職員が指導するため当該箇所を訪問するケースや路上への不法投棄の収集に職員の時間が忙殺されるケースが増えてきている。毎年8月の道路ふれあい月間のPRの中で、適切な道路の使用について啓発活動を行う。		

6 ア) コストの推移	*この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円円で換算）				[単位：円]
区分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)	
① 直接事業費	5,474,011	5,766,592	6,407,055	7,168,000	
経常経費	5,301,572	5,689,257	5,443,976	6,168,000	
臨時的経費	172,439	77,335	963,079	1,000,000	
* 臨時的経費の説明					
② 人件費	52,000,000	52,000,000	52,000,000	52,000,000	
正規職員の人数（人）	6.50	6.50	6.50	6.50	
③ 合計コスト（①+②）	57,474,011	57,766,592	58,407,055	59,168,000	
前年度比		100.5%	101.1%	101.3%	
財源	5,474,011	5,766,592	6,407,055	7,168,000	
内訳	52,000,000	52,000,000	52,000,000	52,000,000	
* 特定財源の説明	市道等占用料、自動車損害保険				
④ コストに関する補足説明					

イ) 負担金、補助金、交付金の状況

[単位：件、円、%]

負担金補助金		27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	0	0	0	0
	割合	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%

●改善の内容 (ACTION)

7 具体的な課題と改善

課題	(事務を正確に実施し、少ない費用で効率的に事業を行う上で、現在課題になっていること) 境界立会いの記録は、全て紙ベースで12,000件超の記録が残っている。昭和30年代から綴られているが、青焼きの記録もあり、劣化が著しくなっている。また、台帳室も手狭になってきている。
	(上記の課題をふまえて30年度以降に実施する、具体的な改善の内容) 順次PDF化を進め、GISでの閲覧ができるように改善を図ってまいりたい。
改善方法	
改善開始時期	平成30年4月

●次年度の計画 (PLAN)

8 次年度の方針	継続して実施	9 施策評価による30年度の優先度 *H28年度施策評価表より転記すること	B
----------	--------	--	---